

2025年度

福祉教育・出前講座ガイド

あやべボランティア総合センターでは、「安心して暮らしやすい地域社会をつくる」ために、一人一人が困っている人の思いや願いに気づき、自分にできることを主体的に考え、行動する力を育むための体験を通じた学習プログラムを進めています。

学校での総合的な学習や人権学習、また地域や事業所の研修内容に合わせて相談に応じます。

◆福祉教育の目指すものと期待される効果◆

地域を構成する一員として、福祉学習を通し、子どもたちや地域に暮らす人々から、次の力を引き出すことが求められます。(目指すもの)

1. 人を思いやる力
2. 違いを認め合える力
3. 自分の思いや考えを人に伝える力
4. 事実を受け止め自分で考える力
5. とともに生きる力
6. 応援し合える力

同時に、子どもや家庭、学校、地域の様子も変わっていくことが期待されます。(効果)

1. 子どもたちの生活態度が変わる

あいさつができる。遊びなどの意欲が高まる。周りに配慮した行動ができる。明るく、活気ある生活へつながる。

2. 親子の関係が変わる

あいさつ、会話が增える。お手伝いなど助け合う心が育まれる。親自身の学びにつながる。

3. 学校の様子や雰囲気が変わる

あいさつが増える、教室や校庭のゴミの状況に気づき行動が起こせるなど。授業態度が良くなる。クラブ活動などへの参加が促進される。クラスへの関わりなど人を思いやる心でコミュニケーションが図れる。

4. 地域・職場の様子が変わる

あいさつができる。声かけが活発になる。地域・職場が明るく、活気づく。誰もが安心して住みやすいまちづくりにつながる。

地域社会には、子どもから高齢者の方、また障害のある方など多様な人々が暮らしています。いつまでも安心して地域社会で暮らしていけるために、地域住民それぞれが、様々な立場の方の理解者となり地域の担い手として支えあえる関係性を築くことが、有効であると考えられます。

知るはチカラになります。

当事者やボランティアが講師となり、体験談を通じて、またコミュニケーションやサポートのあり方や大切さをお伝えします。ぜひ学習や研修の機会にご検討ください。



あボラちゃん ケンケン

福祉教育実施の流れ

◎申込について

実施日の 2か月前まで にご相談いただければ、スケジュール調整がスムーズに行えますので、なるべく早めに連絡をお願いします。

◎依頼～打合せ～当日までの流れ

①依頼（TEL 等）は、あやべボランティア総合センターへ

- ・どんな目的、内容（伝えたいこと、体験したいことなど）
- ・いつ（月日・時間）
- ・対象者と人数



②事前打ち合わせ（依頼者とあやべボランティア総合センター）

会場の下見、日程、学習内容、準備物等打ち合わせ



③スタッフ打ち合わせ（講師とあやべボランティア総合センター）



④学習の実施

◎学習メニュー

- ・車いす利用者の理解を深めるための学習
- ・視覚に障害がある方の理解を深めるための学習
- ・聴覚に障害がある方の理解を深めるための学習
- ・認知症の理解を深めるための学習
- ・こころの健康について理解を深めるための学習
- ・障害と障害のある方について理解を深めるための学習
- ・ボランティア入門講座

【問い合わせ】

あやべボランティア総合センター

綾部市新宮町91番地

綾部市ハート交流センター内

TEL：0773-40-1388

FAX：0773-40-1389



あボラちゃん

車いす利用者の理解を深めるための学習

伝えたいこと	人は生活の中で誰も「不便」があって、「工夫・補う」ことで、その人が持つ「力」(強さ)を引き出すことができる 車いすの方との関わり方を知ること(相手の立場になって考える) 積極的に、困っている人の思いに寄り添い、関われること
学習プログラム	
車いす体験 (介助)	・車いすについて 車いすとは、名称と機能、コースを使って操作説明、気をつけること ・車いす体験(介助) 体験コース(段差等)を設定し、自分が押す、押してもらう ・ふりかえり、感想など
場所	会場の手配は依頼者をお願いします(体育館、校舎周辺、ホールなど)
講師・スタッフ	綾部市社会福祉協議会 あやべボランティア総合センター など
費用	講師料は不要 会場代は依頼者をお願いします

車いす体験 (介助)



- ・体育館に体験コースを設定する
写真：2コース設定の場合



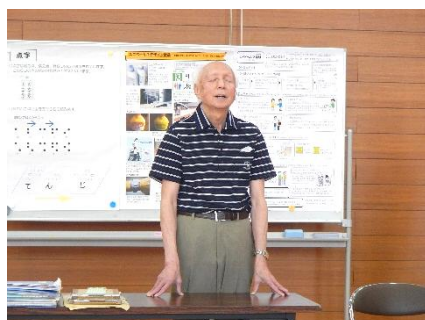
- ・車いすの名称と機能の説明
- ・操作説明
- ・大切なこと、気をつけること



- ・車いすの操作説明、見本
- ・コースを使って体験

視覚に障害がある方の理解を深めるための学習

伝えたいこと	人は生活の中で誰も「不便」があって、「工夫・補う」ことで、その人が持つ「力」(強さ)を引き出すことができる 視覚障害がある方との関わり方を知ること(相手の立場になって考える) 積極的に、困っている人の思いに寄り添い、関われること
学習プログラム ◎体験型	・視覚障害がある方からのお話 自己紹介、視覚障害とは、普通の生活、視覚障害のある人に出会ったら ・ガイドヘルパーの役割についてのお話 ・ガイドヘルプ体験(アイマスク、白杖使用) コースを設定し、ガイドをする、されるの体験(二人一組) ・ユニバーサルデザイン製品について ・ふりかえり、感想など
場所	会場の手配は依頼者でお願いします(体育館、ホール、教室など)
講師・スタッフ	綾部市視覚障害者協会 ガイドヘルパー(綾部市社会福祉協議会) あやべボランティア総合センター など
費用	講師料5,000円 ガイドヘルパー派遣費(必要な場合有り) 会場代は依頼者でお願いします



- ・視覚障害のある方からのお話
- ・ガイドヘルパーの役割についてお話



- ・視覚障害者を助ける道具
- ・生活の工夫



- ・ユニバーサルデザインについて



- ・体育館にコースを設定する
写真：2コース設定の場合



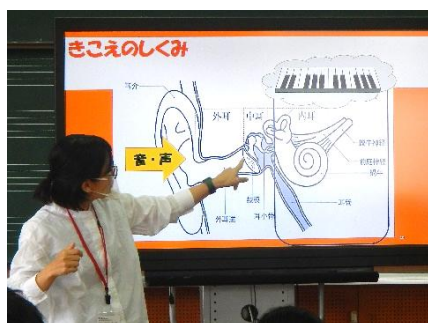
- ・ガイドヘルプのレクチャー



- ・二人一組でコースを体験

聴覚に障害がある方の理解を深めるための学習

伝えたいこと	人は生活の中で誰も「不便」があって、「工夫・補う」ことで、その人が持つ「力」(強さ)を引き出すことができる 聴覚障害のある方との関わり方を知ること(相手の立場になって考える) 積極的に、困っている人の思いに寄り添い、関われること
学習プログラム ◎体験型	・聴覚障害について ・聴覚障害がある方からのお話(こんな時に困っていますなど) ・コミュニケーションの方法 ・難聴体験(ヘッドフォンとICレコーダーを使用など) ・難聴理解かるた ・手話体験 など
場所	会場の手配は依頼者でお願いします(教室、和室など)
講師・スタッフ	京都府聴覚障害者協会綾部支部 綾部市聴覚言語障害者支援センター あやべボランティア総合センター など
費用	講師料5,000円 会場代は依頼者でお願いします



・聴覚障害についてのお話



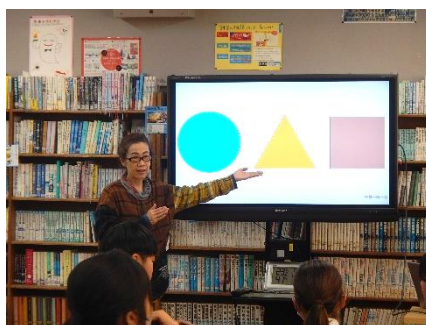
・聴覚障害のある方のお話
生活していて困った事
こんな場面ですどうする？



・『難聴体験』
聞こえにくい状況って？
ヘッドフォンを使って、しりと
りをする



・難聴理解かるた (少人数で対応)



・手話体験
おはよう、こんにちは
元気ですか？ など

認知症の理解を深めるための学習

伝えたいこと	認知症の基礎知識、認知症とともに生きるということ
学習プログラム	・認知症についてのお話 ・認知症患者の思いに寄り添った接し方を学ぶ(グループワーク) など
学習時間	約90分程度
場所	会場の手配は依頼者でお願いします(教室など)
講師・スタッフ	綾部市福祉部地域包括支援課(綾部市キャラバンメイト連絡会) など
費用	講師料は不要 会場代は依頼者でお願いします



- ・認知症についてのお話
(令和4年度はオンラインで実施)



- ・認知症の方への対応について学ぶ
- ・みんなで考える



受講修了者には、カードが配られます

※依頼は、

綾部市福祉部地域包括支援課(綾部市キャラバンメイト連絡会)

TEL : 0773-42-4262 で受け付けます。

こころの健康について理解を深める学習

伝えたいこと	こころの健康づくりの推進 精神疾患の現状と課題 精神疾患の予防と回復
学習プログラム ◎講演型	・精神疾患について(うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害等) ・初期症状(気づきにくく、わかりにくい病気) ・こころの健康を保つコツ(特別な病気ではなく、身近な病気。だれでもかかる可能性のある病気) ・困ったときの相談・情報機関 など
場所	会場の手配は依頼者でお願いします(体育館、ホール、教室など)
講師・スタッフ	綾部市福祉部障害者支援課、ピアサポーター など
費用	講師料は要相談 会場代は依頼者でお願いします



こころの健康についてのお話

障害と障害のある方について理解を深めるための学習

伝えたいこと	社会の中には障害のある人もいれば、障害のない人もいます 障害についての理解を深める お互いに尊重し合い、つながり合える共生社会
学習プログラム ◎講演型	・綾部市手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例 ・障害者差別解消法と合理的配慮 など
場所	会場の手配は依頼者でお願いします(体育館、ホール、教室など)
講師・スタッフ	綾部市福祉部障害者支援課、障害のある方
費用	講師料は要相談 会場代は依頼者でお願いします



ボランティア入門講座

伝えたいこと	ボランティア活動の基本
学習プログラム ◎講演型	・ボランティア活動とは ・ボランティア活動の4原則 ・ボランティア活動の種類 ・どうやって活動を始められる？ ・ボランティア活動の心得(ボランティア活動をするにあたって大切にしてほしいこと)など
場所	会場の手配は依頼者でお願いします(体育館、教室など)
講師・スタッフ	あやべボランティア総合センター など
費用	講師料は不要 会場代は依頼者でお願いします



ボランティアについてのお話

福祉教育資材の貸し出し

◎資材の貸し出しも行っています。

資材内容	借用申請先
アイマスク、白杖、難聴体験用ヘッドフォンセット(ヘッドフォンとICレコーダー)	あやべボランティア総合センター TEL: 40-1388
アイマスク、白杖、車いす、高齢者疑似体験セット、視覚・聴覚障害者体験セット	綾部市社会福祉協議会 TEL: 43-2881
車いす(バスケットボール用)	綾部市福祉部障害者支援課 TEL: 42-4254 (直通)

【問い合わせ】

あやべボランティア総合センター

綾部市新宮町91番地

綾部市ハート交流センター内

TEL: 0773-40-1388

FAX: 0773-40-1389



あボラちゃん